

生の芸術

アール

ブリュット

Art Brut vol.3 展覧会

誰に教わったわけでもない。
熊本が育んだ魂の表現



「エクセレントスター」(松本寛庸、2016)

熊本県立美術館講堂 (入場無料)

2017. 10. 3 Tues - 15 Sun

特別展示 Art Brut提唱者
Jean Dubuffet
ジャン・デュビュッフェ

鍬野大古濱森岡本濱内松山山菊松駒北上荒藤松
崎尻林川山井田崎野下本口川岡田島村木岡本
勝三健好大森岡本濱内松山山菊松駒北上荒藤松
芳正吾夫生茂子子子子子子子子子子子子子子子子
寛庸



講演会：10/7 15:00～「アール・ブリュットの潮流と源流」
熊本県立美術館学芸課長 村上 哲氏

主催：アール・ブリュット(生の芸術)パートナーズ熊本
ーヤマト福祉財団事業ー

移動美術館：11/8～11/14 人吉クラフトパーク石野公園展示館
※12月中に熊本市内の仮設団地みんなの家でも開催予定

共催：熊本県立美術館、社会福祉法人愛隣園
ー厚生労働省障害者芸術文化活動普及支援事業ー

事務局：愛隣館 〒861-0551 熊本県山鹿市津留2022
Tel:0968-43-2771 Mail:ailinkan@magma.jp

後援：熊本県、熊本市
くまもとハートウィーク協賛

生の芸術 ^{アールブリュット} Art Brut 展覧会Vol.3

さらに仮設団地で移動美術館も

「生の芸術 Art Brut 展覧会Vol.3」を下記の要領で開催します。

展示は熊本在住の作家21人の約120点。国内外で高い評価を受けている作家から、今回初めて出品する作家まで、障害がある人々の個性あふれる作品群です。

この活動の「共に生きる」メッセージは、今年beyond 2020の認証を受けました。人吉市での移動美術館をはじめ、昨年の益城町、西原村に続き、今年は熊本市の仮設団地（集会所）でも移動美術館を開くことにしました。観覧はいずれも無料です。



荒木 聖憲「ムーンライト」

■生の芸術 Art Brut 展覧会Vol.3

【日時】平成29年10月3日（火）～15日（日）

9：30～17：15 （入館は16：45まで）

※休館日 10日（火）

【場所】熊本県立美術館講堂（熊本市中央区二の丸2）

- ・キュレーター 真武真喜子 インディペンデントキュレーター
- ・空間企画 坂崎隆一 インスタレーションアーティスト

■生の芸術 Art Brut 移動美術館

①クラフトパーク石野公園（人吉市赤池原町1425-1）

【日時】平成29年11月8日（水）～14日（火）

②熊本市仮設団地内 みんなの家（城南町予定）

【日時】平成29年12月8日（金）～9日（土）



内野 貴信「パン君ショーの猿と犬と鳥と竹馬とスーパーカー」

主催：アール・ブリュット（生の芸術）パートナーズ熊本 —ヤマト福祉財団事業—

共催：熊本県立美術館、社会福祉法人愛隣園

—厚生労働省障害者芸術文化活動普及支援事業—

後援：熊本県、熊本市

くまもとハートウィーク協賛

【お問い合わせ】

アール・ブリュット パートナーズ熊本 事務局
愛隣館 担当：三浦・納富・堀田・久武

TEL：0968-43-2771 FAX0968-43-2793

MAIL：ailinkan@magma.jp

★「アール・ブリュット Art Brut」って何？

「生の芸術」という意味のフランス語。

Art：芸術 **Brut**：ワインなどが生のままであること

フランスの画家ジャン・デュビュッフエが提唱した概念で、正規の美術教育を受けていない人（障害者ら）が自発的に生み出した、既存の芸術に影響を受けていない絵画や造形のこと。

★「アール・ブリュット（生の芸術）パートナーズ熊本」とは？

2013（平成25）年12月から翌年2月まで開かれた「アール・ブリュット・ジャポネ展」（熊本市現代美術館）をきっかけに14年1月発足。

障害のある人たちの芸術活動を推進するため、表現して生きる環境づくり、評価を受ける機会づくり、芸術・福祉・教育・行政などのネットワーク構築などの活動によって、障害のある人たちの自立と社会参加を促進し、共生社会の実現を目指す団体です。会員は約160人、登録作家は48人（2017年9月）。具体的には以下の活動を行っています。

- ① 展覧会・移動展覧会の企画
- ② 作家、作品の調査と発掘
- ③ 相談窓口の設置
- ④ ネットワークづくり



松本 寛庸「アール・ブリュットスター」



藤岡 祐機「無題」



駒田 幸之介「無題」



山口 秀隆「特急A列車で行こう」